



# 東京女子医大麻酔科 グランドラウンド

Anesthesia Grand Rounds at TWMU



Tomoki Sasakawa,  
MD., Ph.D.

2021年3月19日 (金)

東京時間夜21時-22時

方法：ZOOM

[lkyoku.ac@twmu.ac.jp](mailto:lkyoku.ac@twmu.ac.jp)まで

事前登録おねがいします

演者：笹川智貴先生

旭川医科大学麻酔科学講座

## 安全な筋弛緩管理 + 区域麻酔

～筋弛緩薬の臨床薬理学にシミュレーションを武器に挑む～

コロナ禍の現況で、挿管時の声門開大や咳嗽の予防、全身麻酔の不動化等、筋弛緩薬の必要性は高まっています。拮抗薬スガマデクスの登場により、終刀時に深い筋弛緩状態を維持していてもスムーズな抜管が可能となりましたが、その一方で高用量の筋弛緩薬投与やモニタリングの不使用、スガマデクス量不十分による再クラーレ化等、安全確保はまだ先のようです。APSF (Anesthesia Patient Safety Foundation: 麻酔患者安全財団) News Letterに笹川先生は「適切な筋弛緩モニタリングの不使用によるスガマデクス投与後の術後再クラーレ化：日本での経験」と題し、日本麻酔科学会のモニター指針改訂や定量的筋弛緩モニタリングの重要性を世界に向け解説されました。新・筋電図式モニタリングと適正な術中筋弛緩管理について、盛り沢山の内容となります。講演後半は日本区域麻酔検定試験 (J-RACE) の臨床応用について、旭川医大の実践を加えご教示頂きます。

演者予告：2020年3月2020年小児麻酔と薬物動態について  
Charlie Coté先生 (米国ハーバード大学MGH麻酔科名誉教授)